

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2016年5月15日

報告書名：平成27年度 ジャパン・プラットフォーム 完了報告書

平成27年度 ジャパン・プラットフォーム 完了報告書

2016年5月15日

事業名	アフガニスタン ナンガハル州およびクナール州での食糧・物資配布事業		5 lines
事業対象地	アフガニスタン ナンガハル州およびクナール州		
事業期間	事業期間：2015年12月17日～2016年1月31日		
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム		
総支出・返還金	総支出：14,922,220円（返還額：1,324,511円）		
プロジェクト目標および、その達成度	<p>2015年10月26日現地時間13時40分頃に、アフガニスタン北東部のバダフシャン州を震源として発生した震度7.5の地震は、ナンガハル州、クナール州においても甚大な被害をもたらしたため以下2点を事業目的とした。</p> <p>1点目は、ナンガハル州およびクナール州の被災地の被害状況とニーズ把握のため、調査を行って、支援物資配布事業対象世帯を特定するとともに、物資配布事業の調整を行うことであった。2点目は、上記調査結果に基づき、政府や民間団体からの支援が行き届いておらず、未だに緊急救援の段階にある地域の被災者に最低限必要な支援物資を配布することによって、被災者の生活環境が改善することであった。</p> <p>支援要請のあったナンガハル州、クナール州において、被害状況の調査を行い、家屋が全半壊しておりかつこれまでに物資支援を受けていなかったあるいは支援が不足していた500世帯約3,500名に対して毛布、食糧を配布した。対象地域・世帯数は、ナンガハル州のKhewa郡の250世帯およびDara-I-Noor郡の50世帯、クナール州のChowki郡の100世帯、Narang郡の90世帯、Asadabad市Tesha村の10世帯であった。</p>		～10 line
実施内容 概要	<p>物資配布</p> <p>ナンガハル州、クナール州において、被害状況の調査を行い、家屋が全半壊しておりかつこれまでに物資支援を受けていなかったあるいは支援が不足していた500世帯約3,500名に対して毛布、食糧を配布した。</p>	<p>受益者数</p> <p>約3,500人</p>	2/3 page
成果	<p>物資配布</p> <p><u>「500世帯約3,500名に必要な食糧と物資を配布した。」</u></p> <p>ナンガハル州、クナール州において、被害状況の調査を行い、家屋が全半壊しておりかつこれまでに物資支援を受けていなかったあるいは支援が不足していた500世帯約3,500名に対して毛布、食糧を配布し</p>		～1page

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2016年5月15日

報告書名：平成27年度 ジャパン・プラットフォーム 完了報告書

	<p>た。対象地域・世帯数は、ナンガハル州の Khewa 郡の 250 世帯および Dara-I-Noor 郡の 50 世帯、クナール州の Chowki 郡の 100 世帯、Narang 郡の 90 世帯、Asadabad 市 Tesha 村の 10 世帯であった。</p> <p>配布後の対象地域のリーダーへのインタビュー調査の結果は、配布した物資・食糧の品目と量、配布方法、住民組織と当会の調整、協議は適切であったことを示している。</p>	
課題と対応策	<p>活動に関して、以下のような課題が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none">・郡行政や国際機関から提供を受けた被災者リストに名前の重複などの問題が見られたため、被災者リストを基に全世帯の調査を当会を行った。これにより、対象世帯の選定に当初予定していた1週間より長い2週間の期間を要した。・地震発生後1カ月半が経過したタイミングで食糧や物資配布の支援を行う場合は、支援対象世帯の選定に時間をかけて慎重に行う必要があることを学んだ。	1/2
教訓・提言	<p>教訓として2点を得た。第一は、地震発生後1カ月半が経過したタイミングで食糧や物資配布の支援を行う場合は、対象世帯の選定に時間をかけて慎重に行う必要があるという点である。郡行政や国際機関から提供を受けた被災者リストに名前の重複が見られたり、既に支援を受けた被災者が含まれていたりといった問題があったため、当会は被災者リストを基に全世帯の調査を行うことになった。これにより、支援対象世帯の選定に当初予定していた1週間より長い2週間の時間を要した。</p> <p>第二は、発生後1カ月半が経過したタイミングの物資配布支援では、市場から調達できる物資が品薄になるという点である。計画時に配布を予定していたテントが、震災の支援のため、市場において品薄となっており、予定していた配布時期までには約50張しか調達できないことが判明した。よってテントの配布を断念し、代わりに、当初1世帯あたり4枚の配布を予定していた毛布を7枚配布することにした。</p>	